

STARBRAND TIMES



(E) UNIFORM #07
SHINWA

「工事現場をエンタメ化した会社」

ユニフォームを着て撮る写真は、地球を救うヒーロー感
メディア掲載、新卒採用、チームの結束力に大きく貢献



KEY PHRASE | written by RYU MURAO

支える仕事を任されてる
支える仕事で食べていく



地域を支えてきた人たちを支える



根があるから支えられてる



仕事を通じて喜んでもらう
その相手はお客さまだけ？

KEY ITEM

動画に登場する美しい背景、美しい施設、美しいオフィス。これはすべて「アール・ケア」自社のもの。撮影のために大掃除、いい撮影ポイント探し…なんてこともあります。<アール・ケア>ではどこをどう切り取っても絵になる場所しかありません。環境やデザインを整えることもスタッフや利用者さまのため。デザイン性にこだわることも会社にとって必要なこと。そう考えているからこそありのままをいつでも公開できます。



アール・ケア



2014年11月~2015年4月、スターブランド社でリブランディングをした「アール・ケア」。プロジェクト終了から約2年を経て村尾隆介と再度タッグを組んだのがこの動画。プロジェクト期間はきっちり半年でしたが、新コンセプト・ビジョン・ミッション・デザインすべてを完成させた機動力ある会社。村尾隆介も講演で事例として頻度高く紹介する介護業界の先駆者です。変わらぬ挑戦者としてのまっすぐな姿勢が動画からあふれています。

山根社長の「根」のジェスチャー

WELCOME ABOARD



最後の「R」を持った人々



社長の山根もいっています

RYU'S FAVORITE SCENE

Q.1 このシーンを選んだのはどうして？

「根がある人が欲しい」と社長の山根さんの「根」をかけた演出。その山根さんが根を動作で表す姿は可愛い。「R」を持った人たちの連続も最後「…ね」と終わり、わかる人にはわかるのが好き。

Q.2 この動画を通して感じてほしいことは？

地域に根差す介護施設は、地域に貢献してきた人々への恩返しでもあるという見方を、この動画ではしています。どんな職業でも、こうして見方を変えたら、尊さが増すことってあると思います。

Q.3 制作に携わったチームに伝えたいことは？

メインのチームも、その他よい出演チームも、カメラの前での立ち振る舞いがうまかったと思います。今回は結構シーンが多い作品だし、正直簡単じゃなかったはず、コーディネイト含め！感謝。

KEY PERSON

株式会社アール・ケア
代表取締役社長

山根 一人 KAZUTO YAMANE

Q.1 なぜ77で動画をつくろうと思ったのですか？

動画は写真よりも「伝えたいことをすぐに伝えることができること」を知ったこと。また他社の動画を見て「このような動画をつくりたい！」と社員から声があがったから。また村尾さんのセンスを信頼していたから。

Q.2 動画制作で大変だったことや印象に残る出来事は？

大変だったのは、出演者のスケジュール調整。一日の撮影に、出演者（お客さまも含め）全員の撮影スケジュールを合わせることに苦労した。印象に残る出来事は、「動画が良くできていること」がすべて。

Q.3 動画にこめた想い or つくり終えた今なにを思うか？

介護の固定概念を覆すためチャレンジし続ける会社であることを動画で表現できてよかった。会社の想いを社員に伝える方法のひとつとしても動画をつくりたいと思った。何年か経ったらまた村尾さんにプロデュースいただきたい。

